

(博士後期課程) 建築・都市デザイン工学専攻【建築学コース】 アドミッション・ポリシー

研究科・専攻ポリシー

建築学の「学際的」、「先進性」の理解と、博士前期課程で行った研究を基盤として、将来の技術革新やものづくり研究に必要となる学術情報や先端技術の動向と正確な分析を行い、独創的観点に立った研究課題の設定および解決ができ、かつ指導できる研究者および高度専門技術者を育成する。また、他の分野の融合知識や技術も修得して、知識と技能に加えて創造性豊かな感性力を発揮し、新しい技術開発を探究する能力を高めていく。

<求める人物像>

- 専攻および建築学コースが掲げる教育目標を理解し、その実現に対して努力できる人物
- 建築学についての専門知識や技術を基盤とし、異分野の知識も併せ持ち、積極的に関わる意欲をもった人物
- 自らの考えや研究の意義づけ、状況把握に対して、外国語も含めて的確に言語表現ができる人物

入学前に学修しておくことが期待される内容【建築学コース】

博士後期課程では、博士前期課程以上に主体的かつ積極的に研究課題に取り組み、研究を遂行するとともに、当該する学術分野において研究成果を社会に発信できる能力が求められる。そのためには、専修する分野における高い研究遂行能力を身に付けておくことが必要である。また、学術情報を収集し理解するための英語読解能力、当該分野の研究者とハイレベルの意見交換できる英会話能力、研究成果を世界に向けて発信するための英語学術論文作成能力、などの実践的な英語力が必要である。さらに、工学倫理（研究者倫理）を身に付けておくことが必要である。

一般入試

学科試験は課さず、面接試問と書類（調査書、成績証明書）審査の結果で総合的に評価する。面接試問では、博士前期課程での研究内容と博士後期課程で行う予定の研究内容について、プレゼンテーションおよび試問を課す。入学前に学修しておくことが期待される内容は、上記の通り。

外国人留学生入試

学科試験は課さず、面接試問と書類（成績証明書、推薦書他）審査の結果で総合的に評価する。面接は、博士前期課程での研究内容と博士後期課程で実施予定の研究内容について試問を行う。入学前に学修しておくことが期待される内容に加えて、日本語文献の読解と日常会話が可能で日本語能力が必要である。